


東京都障害者ピアサポート研修 専門研修 概要

【演習②】5 ピアサポートの専門性の活用の振り返り、気づきの共有

<h2>獲得目標</h2>	<ul style="list-style-type: none"> ● ストレングスなどの重要な視点を確認した上で、自身の経験の効果的な伝え方を学ぶことで、ピアサポートの専門性の活かし方を理解する。
<h2>設問</h2>	<p>□ 事例検討</p> <p style="text-align: center;">グループ演習③事例検討</p> <p>Rさん 男性 45歳 診断は統合失調症。父親は5年前に病死しており、70歳になる母親と二人暮らし。近所に兄家族が住んでいる。27歳で初診入院（医療保護入院）。以後3回の入退院を繰り返し、現在に至る。半年前から就労継続支援B型事業所を利用している。障害年金（2級）、事業所の工賃が本人の収入。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;"><ディスカッション>（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Rさんはどういう人でしょう。想像してみましょう。 ・ RさんのストレングスとRさんの環境のストレングスを見つけてみましょう。 ・ Rさんのニーズをアセスメントしてみましょう。 ・ Rさんに伝えたいあなたの経験を考えましょう。 ・ Rさんへの支援として思いつくことを話し合ってみましょう。 </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div> <p style="text-align: center; color: red;">言い換え：「Rさんには、どんなことが必要か考えてみましょう」</p>

⇒ファシリットの留意点についても、是非ご意見お聞かせください。

東京都障害者ピアサポート研修 専門研修 概要

6 関連する保健医療福祉施策の仕組みと業務の実際

獲得目標	●関連する保健医療福祉施策の歴史や仕組みを学ぶことで、ピアサポーターが雇用される障害福祉サービス等の歴史や現状、その仕組みなどを理解する。
------	---

時間	40分
対象	ピアサポーター

<伝えたいこと>

- ・精神保健医療福祉サービスで働く上での基本的な知識を学ぶ。
- ・精神科に係る保健・福祉・医療の各々の制度的成り立ちを知る。
- ・各分野での実際の業務に触れる。

出所：平成30年度 厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業（身体・知的分野））
障害者ピアサポートの専門性を高めるための研修に関する研究 専門研修テキスト

各障害共通言語へ

<伝えたいこと>

- ・関連する保健医療福祉制度において働く上での基本的な知識を学ぶ。
- ・関連する保健医療福祉の各々の制度的成り立ちを知る。
- ・各分野での実際の業務に触れる。

東京都障害者ピアサポート研修 専門研修 概要

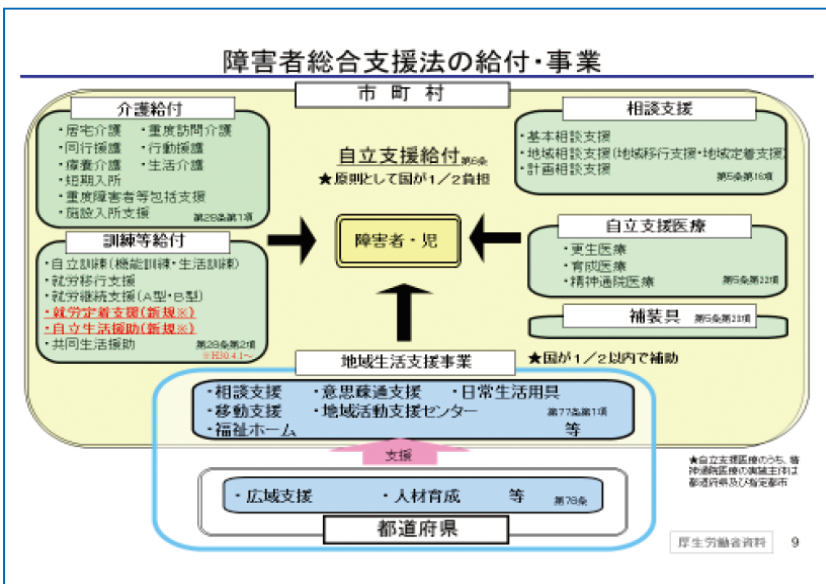
6 関連する保健医療福祉施策の仕組みと業務の実際

伝えたいこと

関連する保健医療福祉制度において働く上で
 の基本的な知識を学ぶ。
 関連する保健医療福祉の各々の制度的成り立ちを知る。

講義の構成

- 関係する法律や制度
 - 障害者総合支援法、障害福祉計画、医療計画
- 関係する主な事業や機関の仕組み
 - 保健・・・精神保健福祉センターなど
 - 医療・・・通院による治療と入院による治療
 通院と併用することで医療と生活をつなぐデイ・ケアや訪問看護などのアプローチもある
 - 福祉・・・法に基づく障害福祉サービスや地域生活支援事業



出所:平成30年度 厚生労働科学研究費補助金(障害者政策総合研究事業(身体・知的分野))
 障害者ピアサポートの専門性を高めるための研修に関する研究 基礎研修テキスト(第3版)2019年 3月

東京都障害者ピアサポート研修 専門研修 概要

6 関連する保健医療福祉施策の仕組みと業務の実際

伝えたいこと

講義の構成

各分野での実際の業務に触れる。

□ 業務の実際

- 業務の「実際」ということで、ピアサポーターの業務上の役割や、経験者の苦労話、失敗事例も含めて紹介できると良い。

(例)

ア) 精神科医療機関におけるデイ・ケア (表5)

機関の役割	グループによるプログラム活動を中心に、精神障害者が地域で生活していくうえで役立つ、病気やその治療に関する知識を学んだり、基本的な生活習慣を身に付けていくための機関です。
主に勤務する職種	利用者の人数に応じた配置基準 (3名~6名) があり、主に医師、保健師、(看護師)、作業療法士、精神保健福祉士、臨床心理技術者等がいます。
業務時間の目安	標準実施時間は6時間と定められています。また、デイ・ナイト・ケアとして10時間、ショート・ケアとして3時間といった標準実施時間もあります。 例) 出勤・スタッフミーティング: 8時30分~9時00分 午前のプログラム: 9時00分~12時00分 昼休み: 12時00分~13時00分 スタッフミーティングや記録の作成等: 15時00分~17時00分 (退勤)
業務内容の例	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの企画・運営 (例: SST、服薬教室、料理、ヨガ等) ・プログラム実施記録の作成 ・面接による相談や役所等への同行など個別支援 ・個別支援記録の作成 ・ニュースレターや月間予定表などの作成 ・関係機関との連絡調整や会議等への出席

エ) 指定一般相談支援事業所 (表8)

機関の役割	主に精神科病院や施設などに1年以上入院や入所している人が、住居を確保し、地域で安定した生活を継続できるように関係機関との連絡調整を図りながら退院・退所することを目的とした機関です (地域移行)。また、一人暮らしなどをしている障害者に対して常時連絡をとることが出来る体制を確保し、緊急時の必要に応じて訪問するなどの支援をおこない、地域生活を継続することも目的としています (地域定着)。
主に勤務する職種	相談支援専門員の配置が必須です。
業務時間及び業務内容の例	例) 出勤・スタッフミーティング: 8時30分~9時30分 A病院に訪問し面接による相談 (移動を含む): 9時30分~12時00分 昼休み: 12時00分~13時00分 B病院に訪問し、福祉サービ事業所見学のための外出同行支援 (移動を含む): 13時00分~16時30分 事業所で支援記録等の作成: 16時30分~17時30分 (退勤)

東京都障害者ピアサポート研修 専門研修 概要

【演習③】7 関連する保健医療福祉施策の仕組みと業務の実際の振り返り、気付きの共有

<p>獲得目標</p>	<p>●ピアサポーターは多様なサービスにおいて配置されているが、どのような障害福祉サービスがあるのかを具体例を通して理解する。また、それぞれの事業において、ピアサポーターがどのように活躍しているか、活躍ができるかを検討する。</p>
<p>設問</p>	<p>□ 以下の点について、グループで意見交換をしてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分だったら、この機関（事業所）で働いてみたい」というところがありますか？ ・自分自身が利用したことがなかったり、あまり知らないサービスについて、詳しく知るにはどうしたら良いでしょうか？グループ内で情報を共有してみましょう。

⇒ファシリの留意点についても、是非ご意見お聞かせください。

東京都障害者ピアサポート研修 専門研修 概要

9 ピアサポーターとしての働き方

獲得目標	●労働者としての権利と法律、倫理基準について学ぶことで、支援者として働くことに当たって必要な知識を得る。
------	--

時間	30分
対象	ピアサポーター

<伝えたいこと>

- ・労働者としての権利と法律を知りましょう。
- ・倫理基準について知りましょう。

出所:平成30年度 厚生労働科学研究費補助金(障害者政策総合研究事業(身体・知的分野))
障害者ピアサポートの専門性を高めるための研修に関する研究 専門研修テキスト

東京都障害者ピアサポート研修 専門研修 概要

9 ピアサポーターとしての働き方

伝えたいこと	講義の構成
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">労働者としての権利と法律を知りましょう 倫理基準について知りましょう</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 労働者としての権利と義務 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 労働契約の締結によって、労務を提供する義務などを負う ➢ 賃金不払いなど不当な扱いを受けた場合、労働者としての権利を行使できる。職場を変えることも選択肢の1つ（職業選択の自由） □ 働く準備 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 体調管理、働く上での技術や知識 □ 労働法等の法律関係 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 労働条件の原則 それに加えて、職場ごとの約束事がある。 □ 働く上での心構え <ul style="list-style-type: none"> ➢ 責任と義務 □ 就職が決まった直後に重要なこと <ul style="list-style-type: none"> ➢ 労働条件の通知と雇用契約 □ 雇用契約書締結 □ 倫理及び守秘義務 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 多くのピアサポーターが同意する倫理綱領を作成 ➢ 守秘義務は倫理上必要 利用者との信頼関係を築くために大切

東京都障害者ピアサポート研修 専門研修 概要

【演習⑤】10 ピアサポーターとしての働き方の振り返り、気付きの共有

獲得目標	<p>●労働者としての権利の行使や支援者として働くに当たっての倫理について、具体的事例を通して考える。</p>
設問	<p>□ 以下の事例について、グループで意見交換をしてみましょう。</p> <p>①ピアサポーターとして働いてすぐに自分の強みを活かした役割をもらえないときには、施設長など業務を管轄する者に責任があるため、申し出たほうが良い？</p> <p>②労働時間や給与が契約と違う！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ある福祉サービス事業所にパートタイマーで採用されました。契約では残業はないという話だったのですが、結局、他のスタッフが仕事をしているのに早く帰ることもできません。1日1時間は残業をしていたのですが、もらった給与明細をみると契約した時間分しか入金はされていませんでした。 <p>③他の人に言わないでという相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者のGさんから「あなただから話すんだから、誰にも言わないで」と前置きされたうえで、同じサービスを利用しているKさんに数万のお金を貸していることを相談されました。 <p>④同僚の守秘義務違反をどうすればいいの？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場の同僚と仕事が終わった後、食事に行きました。仕事の話になり、利用者さんの名前や最近の様子などを店の中で同僚が話し始めましたが、周囲には他の客もいます。

⇒ファシリの留意点についても、是非ご意見お聞かせください。